

みあさ美づくり通信 No.52

Miasa Community Design Since 2006



保育園で神城断層地震復興支援チャリティコンサート

シンガーソングライター、中西圭三さん、キーボード奏者、小西貴雄さんのミニコンサートを9月15日、みあさ保育園で開催しました。

昨年8月の美麻夏祭りに出演された中西さんが、東日本大震災後、ぼよよん共和国というプロジェクトを立ち上げられ、歌を通して被災地の支援活動を展開されていることを知り、中西さんに神城断層地震の復興支援をお願いしたところ、快諾してくださいました。当日の会場には、園児のほか

美麻公民館の親子教室の参加者、梨嶺に通っている地域住民の方、約80人が参加しました。中西さんは自身制作の子供向けの歌を中心に歌ってくださり、一緒に歌ったり、踊ったり。最後にはアカペラも披露していただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。たくさんの笑顔も見ることができ、とてもうれしく思いました。そして、このコンサートで、被災地の元気につながってくれればいいなと思いました。中西さんと小西さんも子供達の元気な姿が見れてよかったですと言ってきていました。

(みあさ保育園 早川 安希子)

QRコードを読み取るとホームページをスマホで見られます。

<http://miasa.info>



神城断層地震から間もなく1年。地域と学校で一緒に考える。

特集 防災って何だろう



防災巻とは?

防災巻は、東京大学目黒教授が考案した、災害発生時のイメージを時系列に書き込む用紙をつかって災害時の状況を具体的に想定しながら地域の防災について話し合う災害状況のイメージトレーニングツールです。

美麻小中学校のオープンスクールが行われた9月26日、美麻の全5地区の自治会長さんに8年生の教室に来ていただきました。

また、東京大学生産技術研究所の沼田宗純先生から災害や防災のお話を伺いました。

生徒「この地区は、どこに逃げればいいんですか？」

自治会長「この公民館だね。」

生徒「この避難所は、土砂災害が来たときに避難したらいけないみたいですが、なぜですか？」

自治会長「土砂崩れが起きる可能性があるからだね。」

美麻小中学校8年の生徒たちは、今年度の総合的な学習で、立て続けにおきている土砂災害や火山災害、県北部地震といった長野県内の災害について調べたり、東日本大震災やネパール地震について調べたりしてきたのですが、自分たちで得た情報をスライドや新聞形式にするだけではあまり意味がないと考えていました。また、昨年度から何回か「防災巻」をヒントにして学校に災害備品を提案したり、参観日に保護者と一緒に「防災巻」をつかって地域の災害について考えてきたりしたこともあったので、「防災巻」の記入には慣れていているということもあり、今回の授業に至りました。

自治会長さんたちは、そこに住む生徒たちと一緒に、地域ですでに作成してある「支え合いマップ」を資料としてお持ちになり、生徒たち

の質問に丁寧に答えてくださいました。また、かつてあった地域の土砂災害の場所なども丁寧に教えていただきました。

「子どもたちがこんなに地域の防災について真剣に考えてくれるとは、本当にありがたい。早急に地区の防災について見直します。」

生徒たちの質問に答えながら、自治会長さんたちも、避難所に毛布などの災害備品がおかれていないことや、災害に応じて避難場所が変わることが知られていないといったことにも気づかれたようです。



今回の授業では、「防災巻」を使って中学生と自治会長さんとで地域の災害

や防災について考えることは、かなり有効な方法であるとわかりました。ただ漠然と「地域の防災について考える」といっても、具体的な災害時のイメージがなければ話し合いが進まないでしょう。しかし、今回のように大人も子供も同じ災害の状況設定のもとで、実際にどうやって動くかを具体的にイメージすることによって細かいところまで考えられ、問題点も鮮明になります。そして、何より地域を愛する気持ちは、大人も子供も同じであることがお互いに確認できます。

災害はない方がいいのですが、万が一の時、この授業が地域住民の命を守ることに繋がればいいと思いました。

「自助」共助・公助

昨年発生、の、神城断層地震の様子を発生から、1分後 5分後 10分後・1時間後と発表し、防災の調査研究をいただきました。

地震発生したら、まず自分の身を守り、次に居場所（学校・家・買い物先など）によって異なりますが、非難する方法を考えておきましょう。

また、避難場所が安全とも限りません。特に地震では、想定していないことが起こります。地域に住んでいる人は、過去に、どんな場所でどんなことがあったか、いろ

いろ知っていますので、日ごろから、地域の皆さんと交流しておけば、「いざという時」役立つと思います。

2014年11月22日発生、「2014長野県北西部地震」の揺れについて、「信州大学振動調査グループが振動調査アンケート結果を分析しております」、揺れは数十メートル離れただけで揺れ方が変わり、それは地盤の性質や建物の構造などに大きく左右される癖を持っているとのこと、「災害は忘れずにやってくる」ことを身に沁みて、今回の学習を活かし自然災害をよく知り備えてください。（美麻地区連合自治会長 北沢孝一）



東京大学沼田宗純先生のお話を聞いて

沼田先生の「災害とは何か」という質問に答えられませんでした。私たちは地震や大雨などがあるたびに「災害」という単語を使っていたけど、「それは何なのか」と聞かれると、誰も答えられないことに驚きました。沼田先生は「地震や大雨は自然現象。災害はその自然現象によって、人々の生活に害が出ること」と言いました。「自然現象をどうにかすることはできないから、災害が起きる前に被害を最小化する工夫をしておくことがとても大切」。災害について、自分に出来ることをもっと真剣に考えなければいけないなと思いました。「事前の準備が大事」というのがポイントだと思います。私も事前に避難場所などを調べておいて、災害に備えておいた方がいいなと思いました。災害が起こったら、次にどうなるか想像して早く避難が出来るようにしておきたいです。そして、実際に何か起こったとき、生き残って、他の人のことも助けられるようにしておきたいです。

地区の自治会長さんと一緒に「防災巻」を使って

防災巻について各地域の自治会長さんみなさんと一緒に考えました。もし、2階建ての家に住んでいたとして、1階が潰れて



しまったときに、自分が1階にいたときにどうになってしまうのか、そもそも家が潰れる（倒れる）という概念がないので、想像するのにとても苦労しました。僕の地区の自治会長さんは、周りに避難場所がないそうで、驚きました。

「防災巻」を作っていく中で多くの疑問も出てきました。これを一つ一つ解決していけるように学習していきたいと思いました。また、一人暮らしのお年寄りが住んでいる所まではわかっていても、「どこにいつもいるか」や「いつ寝るか」までは把握できていないと思います。そこも詳しく調査していきたいと思いました。でもやっぱり大切なのは、自分の命を守ること。自分の命は自分で守らなくてはいけないので・・・。「自分が生きていないと他の人を助けることができない」と、自治会長さんもおっしゃってくれました。今回、地区ごとに話し合い、深めていくことが出来て良かったです。ありがとうございました。

祝敬老 美麻地区敬老会開催（9月18日）



平成27年度美麻地区敬老会を、地区内の75才以上の方（228名）を対象に開催したところ、85名の皆様にご出席をいただき、地区内の多くの組織・団体からご支援いただき開催しました。今年は、去年の神城断層地震を教訓に携帯用リュックを対

象者全員に、賀寿(白寿1名、米寿6名、喜寿9名)の皆さんには健康で健やかに暮らしていただけるようレンジバックを記念品としました。急速な高齢化・少子化による人口減少時代に活力ある社会を維持・増進していくためには、高齢者の皆様が社会の一員として、今までの経験を生かし、共に生きる協働のまちづくりを推進していくためにも、皆様がいつまでもご壮健で心豊かな人生を過ごされますようご祈念申し上げます。余興では、みあさ保育園児の皆さんと、春に震災復興イベントを行っていただいた、養老金之助一座による演芸、出席者のカラオケ、などを楽しんでいただき、久しぶりにお会いし昔話など、和気あいの開催となりました。（敬老会実行委員長）

美麻ふれあいまつりを開催（8月22日）



地域住民同士の支え合いとつながりを深め、子供から高齢者まで多くの人に参加いただけるよう美麻ふれあいまつりを開催しました。まず最初は、源流美麻太鼓に始まり、一昨年末まで美麻の学校で音楽講師をされておられた松島先生が指導されている松本市で音楽を通

じて障がい者の自立を支援しているケセラ楽団さんの演奏、被災地で歌いたいと練習を重ねられた大町少年少女合唱団の歌声、恒例となっているふれあい抽選会では、今年も地区内18社に協賛いただき盛大に行われました。

屋台村では、日赤奉仕団による非常食の試食や、焼きそば、おにぎり、ポタン汁の振る舞い、チャリティバザーなどにより盛り上がりしました。

運営に関わっていただきました役員はじめスタッフの皆さん。200人を超えるご来場いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

（実行委員長 飯沢 要）

北アルプスに響く 奉納太鼓（8/22～23）

世界的なシンセサイザー奏者の喜多郎さんを中心に和太鼓を一夜かけて叩く「北アルプス奉納太鼓」が、今年も、新行丸山公園運動場で行われました。

神事、来賓による打ち初め、地域の子供太鼓チーム演奏、そして、朝までの奉納太鼓。県内外から約600人の太鼓愛好者が集い、山々への感謝と畏敬の思いを込めて、月夜に鼓音を響かせました。当日の天気予報では雨が降る確率が高く、皆さん心

配されておりましたが、天候にも恵まれ、無事滞りなく行うことができました。

近隣地域の皆様をはじめ、当日お越しいただいた皆様、実行委員会スタッフの皆様によるご理解とご協力があったからこそ実施されたイベントだと感じました。本当にお疲れ様でした。



美麻の祭り

富士浅間神社例大祭の前夜祭 と大塩区民交流会 (9/23)

富士浅間神社例大祭の前夜祭に合わせて大塩区では、地域を盛り上げようと毎年、区民交流会を開催しています。

今年は中村地区が曳き舞台を出す番で、午後7時ごろから舞台はお囃子を演奏しながら、お神楽とともに大黒様、神社境内へと向かいました。そして神事後、区民交流会が行われました。恒例の源流美麻太鼓の演奏、3地区のお囃子の披露、そして今年もマジックやフォーク曲げ、ダンスを得意とする若手パフォーマーHi2(ヒッツ)さんの大道芸が行われ大勢の人で境内は盛り上がりました。大塩若連青葉会のメンバーも屋台を出したり、地域の大勢のみなさんの力で大いに盛り上がった祭り交流会でした。



千見の秋祭 (10/11)

千見神明宮の秋の例大祭が、今年は10月11日(日)に行われました。当日の午前中は雨模様でしたが、午後は雨も上がり13時30分に子ども屋台が出発し、子ども達の祭り囃子にのりながら、地区住民が屋台を神明宮まで曳きました。屋台が神明宮に到着したら、本殿での神事後に源流美麻太鼓と千見祭り囃子が披露されました。また境内では焼きそばや綿あめ、豚汁が振る舞われおいしく食べる事ができました。千見子ども会による祭り囃子が行われ、伝統文化が後世まで継承される事をうれしく思います。(千見育成会長 小林茂敏)

水上神社例大祭を無事終えて

二重地区の産土神として祭られる水上神社は、奈良時代和銅年間(708年頃)に造られたそうで、国狭槌命(くにさづちのみこと)を祀っています。この神様は「どろどろだった地球を天と地に分けた神様」「水の神様」と言われており、長野県内では、水上神社のみだそうです。

祭りは、年6回行われます。特に例大祭は、9月22日が前夜祭で、4台ある曳き舞台が各地区交代で、沢山の提灯を賑やかにつけて奉納されます。沿道は地区の子ども会の皆さんによる手作りの行燈が設置され華やか、若連の皆さんによる打上げ花火や出店、余興などで祭りを盛り上げています。

9月23日の本祭りの「御神輿巡幸」は特殊神事として大町市指定の文化財となっています。袂に帯刀姿の4人に護られた御神輿が、領内を巡幸観閲するものです。「水上神社祭事記より」

昨年の中越断層地震による水上神社の被害



は甚大なものでした。冬空を控えての災害、とりあえず潰れないだけの応急処置をしましたが、記録的な大雪、倒木処理、屋根雪下ろし作業等自然災害の恐ろしさを痛感しました。何としても修復しようと、大町市指定文化財(本殿)として、市より一部助成を受ける目処が立つ中で、総事業費200万円余の修復工事(維持工事含)を本年8月末に完了しました。異常気象に見舞われ、数少ない晴天に恵まれ恒例の例大祭が執行できました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます、報告とさせていただきます。

(水上神社氏子総代会長 塚田寛政)

みんなで作るコミュニティ・スクール

地域食材に感謝！ 岩魚を使って献立作り (9月29日)



美麻小中学校の8年生は、「美麻岩魚倶楽部」の方々が育ててくださった岩魚で調理実習を行いました。岩魚を使った調理実習は今回が2回目です。

前回の調理実習では、学校支援ボランティアの前川浩一さんと種山博茂さんから本格的な塩焼きの方法を初めて教えていただき、

内臓を取ったり、串に通したりといった作業を恐る恐る行ったため、ちょっとユニークな(?)塩焼きが出来ましたが、今回は1回目よりもかなり手際よく、美しくおいしい塩焼きができました。

また「岩魚の塩焼きをメインにした和食の献立」をグループごとに考えて調理しました。豚汁やすまし汁などの定番料理だけでなく、「米なすの和風さっぱり(生徒が命名)」「さつまいものすいとん汁」などもお膳に並びました。

栄養士の峯村先生に評価されれば、生徒たちの考案したサイドメニューの中から給食のメニューが選ばれ、岩魚の塩焼きと共に学校給食に採用されるようです。

他校では見られない岩魚の調理実習。「美麻岩魚倶楽部」の皆さんに感謝です！



オープンスクールを開催



9月26日(土)、美麻小中学校においてオープンスクールが行われました。

全校で体を動かす朝の「元気アップ運動」に始まり、全クラスの1,2時間目の授業を公開しました。授業公開後は、ランチルームにて中原副校長よりスライドを交えた学校の説明がありました。

大町市内の保育園の運動会と日程が重なったため、昨年度よりも参加された方は若干

少なめでしたが、大町市や近隣の地区だけでなく、東京都や埼玉県、茨城県などからも見学に来ていただきました。

参加者の感想の一部を紹介します。

どの学年もそれぞれのクラスの特徴を活かしているように感じた。先生方の熱心が伝わり、安心して通わせることが出来ると思いました。

掲示物も多く、特に写真が良かったです。子どもたちがのびのびしていて、楽しそうなのが印象的でした。

臨時学校運営協議会開催

9月26日、学校開放に合わせ臨時の学校運営協議会が開催されました。学校より現在の状況について、学校の運営は概ね順調であること、児童クラブの場所の変更を検討していること、県内外から多くの視察を受け入れている等の説明がありました。

日本太鼓ジュニアコンクールに参加して



第18回日本太鼓ジュニアコンクール長野県大会が、8月30日(日)箕輪町文化センターにて、開催されました。

出場チーム12チームの中、源流美麻太鼓は初の2チーム出場となりました。

自由曲・桜伝説の小中学生9人と自由曲・旅立ちの中高生10人です。

ジュニアコンクールは18歳までが出場できる大会で、高3の2名が中心となり

この大会の為にたくさんの練習を積み重ね、優勝めざしてがんばってきました。

結果はどちらも敢闘賞でしたが、この大会のおかげで個々の力もつき、レベルアップができました。

これからのステージでも一所懸命演奏させていただきます。

私は今年でジュニアコンクールに出られるのが最後でした。打ち方や声の出し方を、優勝するために一生懸命練習しました。結果、優勝は出来なかったけれど、最後に最高のメンバーと最高のステージができて嬉しかったです。(保科香菜子)



日本太鼓ジュニアコンクール長野県予選会に参加して思うこと

今年の大会は、チーム結成以来初の2チームでエントリーし、全国大会出場をねらい猛練習してきました。結果は残念ながら上位入賞は果たせなかったのですが、充実した時間を過ごすことができました。



これまでの間、正副会長さんをはじめ指導者、先輩、家族、そしてなによりも私たちの演奏を聴いて応援してくださった美麻地区の皆様には、私たちジュニアチームを育てていただきました。心から感謝しています。ありがとうございました。

私は今大会を最後にジュニアを引退することになりますが、引き続きジュニアの後輩たち、そして、大人の打ち手も加わった源流美麻太鼓への応援よろしく願います。(T.G)

ご案内

今年のバチ納め演奏会を12月20日(日)の午後、サンアルプス大町で行います。是非ご来場ください。

大町美麻自転車ロード レース大会開催

今年は、第71回全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）として、全国から188人の選手を迎え、8月30日に開催されました。レースは 激しい雨の中、女子は5週（63.0km）、男子は14週（176.4km）で争われました。

参加された選手の皆様、遠方より応援にこられた皆様お疲れ様でした。

ボランティアでご協力いただいたみな様ありがとうございました。



レースの様子はインターネットでご覧いただけます。
アドレスは、<http://goo.gl/J1UmR9>

夏期球技大会の結果

夏期球技大会が9月5日土曜日に選手数133名が参加して行われました。

ソフトボール（優勝）青具ファイターズ、2位）二重ベアーズ、3位）大塩

ゲートボール（優勝）二重、2位）大塩、3位）新行

ソフトバレーボール

・40歳未満の部（優勝）新行乙女、2位）大塩桜、3位）青具ひまわり

・40歳以上の部（優勝）青具なでしこ、2位）大塩静、3位）二重レディース

アルプスおやき恋訪 パンフレットを一新

大町市（美麻）・小川村・長野市（中条）で構成する「アルプスおやき恋訪」のパンフレットが一新されます。

今回の作成では、長野朝日放送「ザ駅前テレビ」に出演されているヤポンスキーこばやし画伯（松本市出身で、かわいいタッチの絵を描く芸人さん）に表紙を描いていただくことを依頼しました。

作成の様子は、9月12日（土）放送の「ザ駅前テレビ」で、エリアの魅力をスーパーカブ（バイク）に乗って、五感で感じてもらうという企画で、番組の時間ほとんどを使って放送していただき、全県に向けて、地域のPRをすることができました。

パンフレットは10月中に完成し、美麻支



表紙には、おやきと3地域を象徴する風景や、民話がデザインされています。

所をはじめ、道の駅等に設置される予定となっております。3市村のエリアマップが入った便利なパンフレットです。ぜひご活用ください。また、10月下旬よりおやき恋訪ホームページも完成予定となっております。

facebook

フェイスブックでも美麻Wikiのページを開設中です。
スマートフォンでは、QRコードを読み取っていただくだけで、見ることができます。



編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info